

# 自然エネルギーの有効活用に向けて 「小水力発電」施設導入のご提案

SSS

サコダ小水力設計 合同会社

〒573-1194

大阪府枚方市中宮北町 3-10-1001

TEL / FAX 072-848-8657

URL <http://sakoda-water.c-c.co.jp>

Company data



代表社員 迫田 健二

鹿児島県出身。鹿児島工業高校を卒業後、電力会社に入社して水力発電所の建設やメンテナンスに携わる。3年前に小水力や風力などの新エネルギー発電事業を企画する部門に携わったのを契機に、小水力の普及を目指し起業を果たす。

原田 前職では大手電力会社にお勤めだったそうですね。

迫田 はい。電力土木屋として34年間勤め、水力発電所の計画・設計・運用・保全や小水力、風力などの新エネルギー発電事業の企画も担当していました。

原田 確かに小水力というのは、これからのエネルギーなんでしょうね。実際、どのようにして発電するのですか？

迫田 河川の流れと高低差を利用し、水中のタービンを回して発電するシステムです。発電量数kWの自家発電用から1000kWの中規模発電設備まであり、200kW程度だと周辺地域の電力がまかなえるほどの発電量にもなるのですが、事業リスクのヘッジが求められ、前職では積極的に事業を進められない状況でした。ならば私が小水力を広めようと考え、独立したんです。故郷の鹿児島の言葉で表せば「泣こよかひっ飛べ（泣いて迷っているより思い切って踏み出せ）」の気持ちでしたね。

原田 その心意気、さすがは薩摩隼人ですね。では、現在はどのような事業を？

迫田 地域や自治体および発電事業者への小水力発電事業のご提案、設計と施工後のメンテナンスも行う予定です。河川法によって一級河川、二級河川、準用河川と区分毎に管理者が定められ、水利権の許可が必要ですが、河川の水を利用す

る権利は誰にでもあります。ただし水利権の申請方法は非常に複雑で、施設を造るためには利水者や管理者、地権者との協議も必要になりますので、綿密な調査を行った上、専門的な視点から最適な小水力発電施設導入を提案しています。



原田 自然を利用するだけに、関係各所の同意が必要なんですね。

迫田 はい。それにいざ稼働し始めても収益が見込めなければ様々な方にご迷惑がかかりますので、事業性が低いと思わ

れる場合は絶対にご提案しませんね。お客様の収益につながり、設備が維持継続されてこそそのシステムだと考えていますから。

原田 その思いならば依頼するほうも安心でしょうね。自然エネルギーの重要性に注目が集まるなか、今後も楽しみです。

迫田 小水力発電は安定した電力が得られるうえCO<sub>2</sub>の削減に繋がるなど、社会貢献度も高い事業です。私1人の力は微々たるものですから、ボランティアとして参加している「関西広域小水力利用推進協議会」とも歩調を合わせ、小水力の普及活動をしていきたいですね。

これからも小水力発電の可能性を追求し、地域の電力の地産地消を推進することで、それを地域活性に繋げていければ嬉しく思います。

Guest Comment

原田 伸郎 (タレント)

安定した地位を捨て、「小水力を広める」という使命を全うするべく荒海に旅立たれた迫田代表。その心意気に敬意を表し「過去は未来の力になる」という私の好きな言葉を贈らせて頂きました。これまでに培われたものが未来につながるよう祈っています。



▲ 迫田代表が事業として携わったダムや検討中地点の画像。「小水力を未来へ」をスローガンに、小水力発電施設導入の提案や計画・基本設計業務の受託、ダム水路主任技術者保安監督業務の受託などを行っている